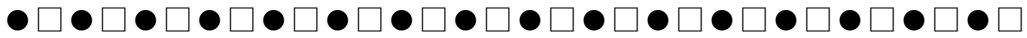




## 日産合成工業株式会社 メールマガジン

2015・10・1 第106号



9月は、秋雨前線の停滞と台風とで、各地で水害や土砂崩れがありました。被害にあわれた方々にはお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

今年も筑西市明野町の「あけのひまわりフェスティバル」に行ってきました。8月末でしたが曇り空で天気は今一つでしたが、ひまわり畑の向こうに筑波山が見えて元気をもらってきました(写真)。

ここは約4.4haの転作田に八重ひまわりやコスモスなど約100万本が植えられています。平成2年、ひまわりが水田農業確立対策の転作作物(景観形成作物)として、一般作物同様、転作奨励金が認められたことから転作田を利用し、「花とやすらぎの里ひまわりフェスティバル」を開催するのが始まりです。最初は一般的にみられる一重の「大輪ひまわり」を栽培していましたが、背丈が低くて風に強く、他に栽培されているところも少ない、「八重ひまわり(正式名称:東北八重ひまわり)」の栽培を平成5年から始め、現在に至っています。

八重ひまわりは、種の購入先の種苗会社が開発した品種で、種は花びらで覆われてきますので未成熟のため、種が畑にこぼれたとしても、翌年に「芽が出ない」「芽が出たとしても、八重ひまわりではなく一重のひまわりと

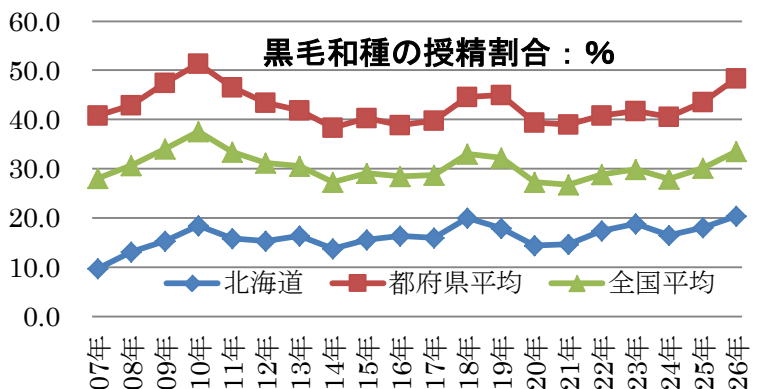
なる」ため、種を採ることはできません。おそらく一代雑種(F1)なのでしょう。このため、仮に種がこぼれても雑草化することが少ないので田畑への影響が少ない品種ともいえます。また、八重ひまわりは連作障害があるらしく、会場の全面積を3等分して、ソバとコスモスとで転作しています。栽培管理する側はたいへんと思いますが見る側としてはソバの花やコスモスの花が同時にみられてラッキーです。ひまわりフェスティバルが終わるとこの転作田は耕起され、秋には麦が蒔かれるということです。



さて、ニッサンメールマガジン第106号をお届けします。

### 乳用牛への黒毛和種交配割合

日本家畜人工授精師協会は授精師の協力を得て乳用牛への黒毛和種の交配状況を調査しています。6月25日、平成27年第1四半期1~3月期の調査結果を公表しました。これによると黒毛和種の交配割合は、全国で33.3%となり、33.1%だった前期より0.2ポイント増加、前年同期の33.1%より0.2ポイントの増加となっています。



一方これまでの年次経過のうち 26 年度の結果を見るとうち北海道では 20.8%、都府県では 49.6%、全国平均はまた、乳用牛への黒毛和種の交配状況の経年変化については同協会のホームページに掲載されています。これ(図)を見ると平成 20 年から北海道、都府県とも受精割合が上昇を続けており、都府県は約 50% の乳用牛に黒毛が交配されています。今後、乳用牛の後継牛の確保、F1 子牛の育成のための飼養管理の精密化などの問題をはらんでいるように思われます。

## 平成 27 年の畜産統計

### (乳用牛)

農林水産省は 6 月 30 日に平成 27 年 2 月 1 日現在の畜産統計を公表しました。これによると、乳用牛の飼養戸数、頭数が前年調査より減少し、一戸当たりの飼養頭数は増加しています。その動向でみると次の通りです。

#### 1) 飼養戸数

乳用牛の全国の飼養戸数は 17,700 戸で廃業等により前年に比べ 900 戸 (4.9%減) 減少しています。地域別に見ると、主要県では北海道で 220 戸減少し、沖縄を除き各地域で減少をみせています。また、飼養規模別でも各階層とも減少しています。

#### 2) 飼養頭数

全国の飼養頭数は 137 万 1,000 頭で前年に比べ 2 万 4,000 頭 (1.7%) 減少しています。その内訳は、経産牛の頭数は 86 万 9,700 頭で同 2 万 3,700 頭 (2.7%) 減少し、未經産牛の頭数は 50 万 1,600 頭で同 400 頭 (0.1%) 増加しました。

#### 3) 一戸当たり飼養頭数

一戸当たり飼養頭数は 77.5 頭で前年に比べ 2.5 頭増加しました。

地域別の飼養頭数は右のとおりです。

地 域	飼養頭数(頭)	前年比(%)	シェア(%)
北 海 道	792,400	96.8	57.8
東 北	105,770	96.6	7.7
関 東	167,710	96.9	12.2
甲 信 越	41,560	94.8	3.0
北陸・東海	112,420	96.3	4.5
近 畿	29,490	95.9	2.1
中 国	47,860	95.7	3.5
四 国	19,980	95.6	1.5
九州・沖縄	119,860	97.8	8.7

## 農林水産省の組織再編

農林水産省は、平成 27 年 10 月 1 日に組織再編を行います。再編のうち当社に関係するポイントは

#### 1) 技術行政の体制の整備【技術総括審議官及び農林水産技術会議事務局】

試験研究、開発から実用化、普及までの専門領域を有機的に連携させ、農業の成長産業化の基礎となる技術行政を強化するため、その司令塔となる大臣官房技術総括審議官が農林水産技術会議事務局長を兼務する体制を構築

#### 2) 農業の成長産業化の推進体制の整備【食料産業局、生産局ほか】

国産飼料の生産・利用を推進するため、生産局に飼料課の設置の 2 点と思われます。詳しくは、こちらを御覧ください。

<http://mailmag.maff.go.jp/c?c=13916&m=3867&v=77831631>

#### ニッサン情報 第 91 号の概要および URL

放牧のように自然に近い飼養形態では、土-草-家畜という流れでミネラルが摂取されます。従って土壌条件の他、土壌中のミネラル間の相互作用により、消化管からの吸収が阻害され欠乏

する場合があります。一方、舎飼いなど人為的に制御された飼養条件下では単純な欠乏症は起こりにくいといえます。

しかし、ミネラルの中でもカルシウム(Ca)の場合、泌乳牛のように生乳中への多量の Ca 分泌が起こると、Ca の代謝障害が発生しやすくなります。そこで特に分娩後に起こりやすい低 Ca 血症のメカニズムと予防について整理してみました。詳細は「ニッサン情報」第 91 号にまとめてあります。

「ニッサン情報」は、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「技術情報」をクリックし、「ニッサン情報」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

また、関連の情報は[ニッサン情報第 23 号](#)、[ニッサン情報第 38 号](#)、[ニッサン情報第 56 号](#)、[ニッサン情報第 76 号](#)、[酪農・豆知識第 95 号](#)にも掲載しておりますので、合わせてご覧ください。

---

## お知らせ

### 印刷用の PDF ファイル

本メールマガジンでは印刷用のPDFファイルを添付してあります。PDFファイルをご利用いただくためには、Adobe Readerが必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください](#)。

### メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

### アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく願います。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。